

# 高校公民プリント（過去問類似）

## 西洋の近現代思想 No.7

名前

得点

/10

**問1** 19世紀のドイツの思想家であり、資本主義経済の仕組みを批判的に分析した人物は誰か。彼は、工場や機械などの生産手段を私有する資本家と、自らの労働力を売るしかない労働者との間に階級分化が生じ、両者の利害が対立する構造を明らかにした。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ラサール                      2. マルクス                      3. フーリエ                      4. オーウェン

**問2** 「最大多数の最大幸福」を唱えたイギリスの思想家は、道徳的配慮の対象を決定する基準について、理性の有無ではなく「苦痛を感じるができるか」という能力を重視し、動物も配慮の対象に含めるべきだと主張した。この思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ハチソン                      2. ベンサム                      3. シンガー                      4. ミル

**問3** 16世紀初頭、ギリシア語原典の聖書研究を通じてキリスト教本来の精神に立ち返ることを主張したネーデルラント出身の人文主義者は誰か。彼は著書『愚神礼賛』において、戦争や贖罪札の販売に熱中する教会の墮落や聖職者の腐敗を女神に語らせる形で鋭く風刺し、後の宗教改革にも大きな影響を与えた。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ロイヒリン                      2. ラブレー                      3. チョーサー                      4. エラスムス

**問4** 近代の道具的理性がもたらした管理社会を批判しつつ、公共空間において人々が対等な立場で議論を交わし、合意を形成していく「対話的理性」の重要性を説いた、ドイツの社会哲学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. マルクーゼ                      2. ハーバーマス                      3. ホルクハイマー                      4. アドルノ

**問5** 「最大多数の最大幸福」を掲げる功利主義が少数者の犠牲を容認しかねないことを批判し、各人が平等な自由をもつべきだとする原理や、不平等が最も不遇な立場の人々の状況を改善する場合にのみ認められるとする原理などを柱とする、公正としての正義を提唱したアメリカの哲学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. サンドル                      2. ロールズ                      3. ノージック                      4. アレント

**問6** 16世紀のヨーロッパにおいて、すべての信者は神の前で平等であり、教会や聖職者の仲介なしに直接神と交わることができるとする、プロテスタントの根幹となった思想を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 信仰義認説                      2. 職業天職説                      3. 万人司祭説                      4. 聖書唯一説

**問7** ルネサンス期のイタリアの思想家で、著書『人間の尊厳について』の中で、人間は自らの意志によって自らを形成する自由意志を与えられた存在であり、それゆえに尊厳を持つと主張した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジョルダノ・ブルーノ                      2. ピコ・デラ・ミランダ                      3. ニコラウス・クザーヌス                      4. マルシリオ・フィチーノ

**問8** 人間を単なる手段としてのみならず、絶対的な価値を持つものとして、自分と他人のそれを常に同時に目的として尊重すべきであるとする、ドイツの哲学者が提唱した倫理思想を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 感情主義                      2. 功利主義                      3. 実存主義                      4. 人格主義

**問9** ドイツの哲学者が提唱した、人間の主観に備わる認識能力が感覚的素材を整理して対象を構成するという、認識と対象の関係を逆転させた認識論上の変革を何と呼ぶか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. デカルト的懐疑                      2. コペルニクス的転回                      3. ヘーゲルの弁証法                      4. スピノザの一元論

**問10** ヤスパーズの哲学において、死、苦しみ、争い、罪など、人間の力では克服することも回避することもできない、自己の有限性を自覚させる決定的な状況を何と呼ぶか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 限界状況                      2. 自己欺瞞                      3. 単独者                      4. 世界内存在

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 2 マルクス	資本主義社会における生産手段の私有に伴う階級対立を分析し、社会主義への移行の必然性を説いた。主著に『資本論』などがあり、エンゲルスとともに科学的社会主義（マルクス主義）を確立した。その理論は、のちの社会主義運動や経済学に多大な影響を与えた。
問2	答え 2 ベンサム	倫理的配慮の境界線を引く基準として、理性の有無や会話の能力ではなく、苦痛を感じることができるかどうか（被苦能力）を重視した。この見解は、人間以外の動物も苦痛を避けるべき道徳的配慮の対象として視野に入れるべきだという、後の動物解放論に大きな影響を与えた。
問3	答え 4 エラスムス	ギリシア語新約聖書の校訂・出版などの聖書研究を行い、キリスト教本来の精神への回帰を説いたネーデルラントの人文主義者はエラスムスである。彼は著書『愚神礼賛』において、当時の教会の墮落や聖職者の偽善、不寛容を風刺的に批判した。彼の思想はルターらの宗教改革に大きな影響を与えたが、自身はカトリック教会に留まり、教会分裂には反対した。
問4	答え 2 ハーバーマス	道具的理性による「生活世界の植民地化」を批判し、対話的理性に基づく「コミュニケーション的行為の理論」を提唱して、公共空間における合意形成のあり方を模索した。
問5	答え 2 ロールズ	功利主義的な考え方は、社会全体の効用を増やすために少数者の権利や利益が犠牲にされる危険性を孕んでいる。これに対し、この哲学者は社会契約説の手法を現代的に復興させ、誰もが納得できる公正な社会のルール（正義の二原理）を構想した。彼は、社会的・経済的不平等が許容されるのは、公正な機会の平等が保障され、かつ最も不遇な人々の状況が改善される場合（格差原理）のみであると主張し、現代の規範政治理論や福祉国家論に決定的な影響を与えた。
問6	答え 3 万人司祭説	ルターが唱えたこの思想は、すべての信者が司祭であるとするものであり、神の前での平等を強調した。これがのちに、個人の尊厳や権利を重視する近代の人間尊重の精神を生み出す重要な思想的基盤となった。ウィクリフやフスは教皇の権威を批判した先駆者であり、イグナティウス・デ・ロヨラはカトリック側の対抗宗教改革を推進した人物であるため、これらとは区別される。
問7	答え 2 ピコ・デラ・ミランドラ	ピコ・デラ・ミランドラは、ルネサンス期を代表するイタリアの人文主義者である。彼は『人間の尊厳について』において、神が人間にのみ「自由意志」を与え、自らのあり方を自分で決定できる存在として創造したとし、これこそが人間の尊厳の根拠であると説いた。これは、中世の決定論的な人間観を覆す画期的な思想であった。
問8	答え 4 人格主義	人間を単なる手段として扱うのではなく、絶対的な価値を持つ人格として、自分と他人の人格を常に目的として尊重することを求める思想である。これは、自律的な道徳法則に従う主体としての人間（人格）に無限の価値を認める立場に基づいている。
問9	答え 2 コペルニクスの転回	カントは、認識が対象に従うのではなく、主観の認識能力によって対象が構成される（対象が認識に従う）と考えた。この認識論における劇的な発想の転換は、天文学における地動説への転換になぞらえて「コペルニクスの転回」と呼ばれる。
問10	答え 1 限界状況	人間が自らの力ではどうすることもできない壁に突き当たったとき、自己の有限性を自覚して絶望するが、それを契機に超越者と出会い、真の実存に目覚めることができるとされる。このような死や苦しみ、争い、罪などの状況を、ヤスパースは「限界状況」と名付けた。